

シンポジウムⅡ： 地方環境税をめぐる現状と諸課題

パネリスト	青木宗明（神奈川大学）
	金子林太郎（敬愛大学）
	川勝健志（京都府立大学）
	佐藤一光（内閣府）
	其田茂樹（地方自治総合研究所）
コーディネーター	清水雅貴（和光大学）

いわゆる地方環境税がはじめて導入されてから 15 年が経過する。産業廃棄物税は 2001 年に三重県で初めて導入され、森林環境税は 2003 年に高知県で初めて導入された。そして、それぞれ地方自主財源獲得の試みとして議論され、全国に広がっていった。本シンポジウムでは、地方環境税の現状と課題を析出しつつ、自主財源獲得の理念と実際について検討を試みる。